

平成 26 年度 三重県における高齢者虐待の状況について

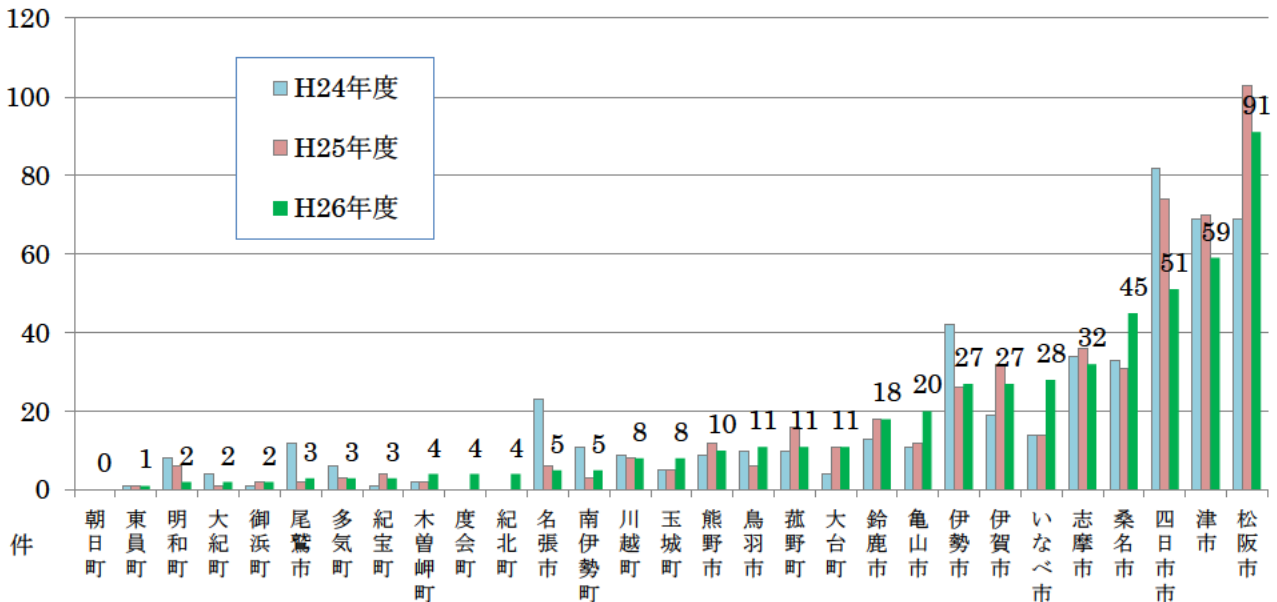
平成 28 年 2 月 5 日
三重県健康福祉部長寿介護課

1 総論

(1) 各市町の相談・通報受理件数の合計

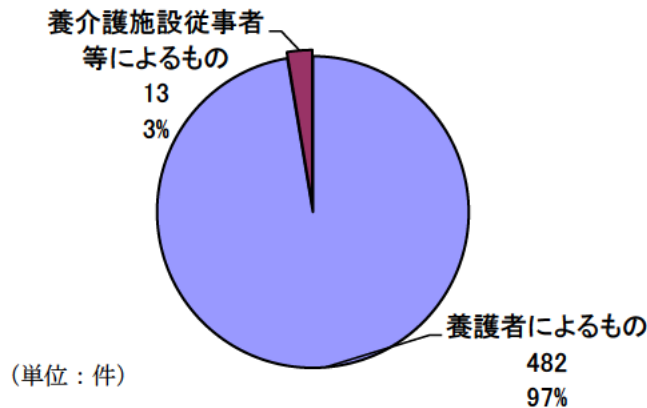
- ・ 県内の平成 26 年度中の高齢者虐待にかかる相談・通報受理件数は、合計で 495 件でした。(平成 25 年度 504 件、9 件の減少)
- ・ 各市町の相談・通報受理件数の内訳は、次のとおりです (注1)。

図 1-1 平成 26 年度中の高齢者虐待にかかる相談・通報受理件数 (市町別)



- ・ 相談・通報のうち、482 件が養護者による虐待、13 件が養介護施設従事者による虐待でした。

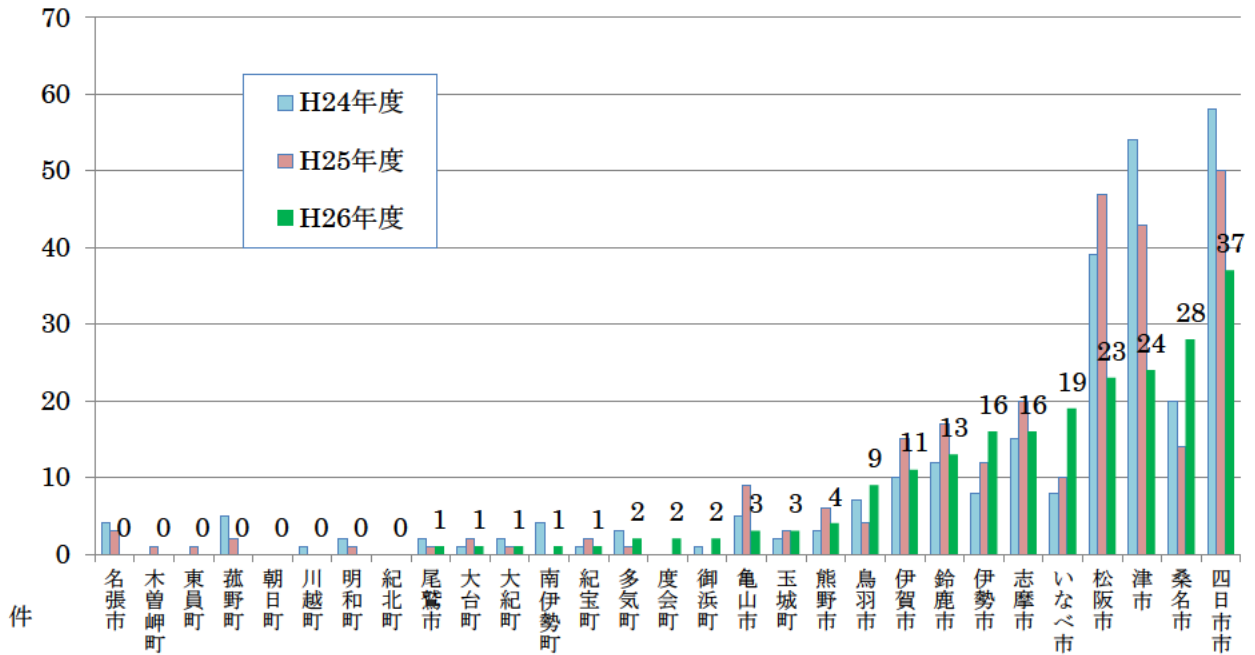
図 1-2 平成 26 年度中の高齢者虐待にかかる相談・通報受理件数の内訳



(2) 各市町において虐待を受けた又は受けたと思われると判断した事例

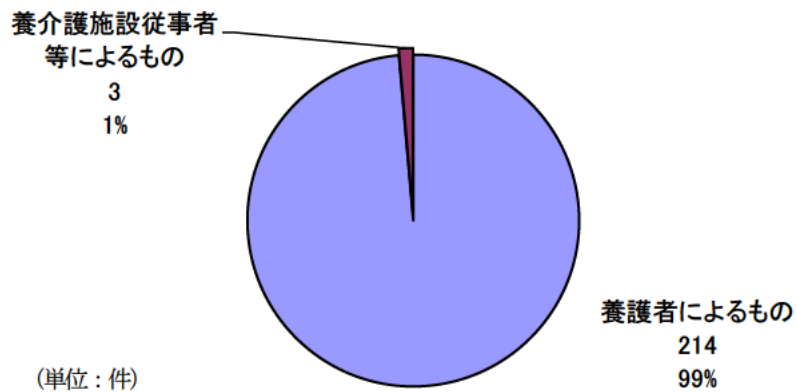
- ・県内の平成26年度中の高齢者虐待を受けた又は受けたと思われると判断した事例は、合計で217件でした。(平成25年度265件、48件の減少)
- ・市町ごとの内訳は、次のとおりです。

図1-3 平成26年度中の高齢者虐待の認定件数(市町別)



- ・高齢者虐待を受けた又は受けたと思われると判断した事例のうち、214件が養護者による虐待、3件が養介護施設従事者等による虐待でした。

図1-4 平成26年度中の高齢者虐待の認定件数の内訳

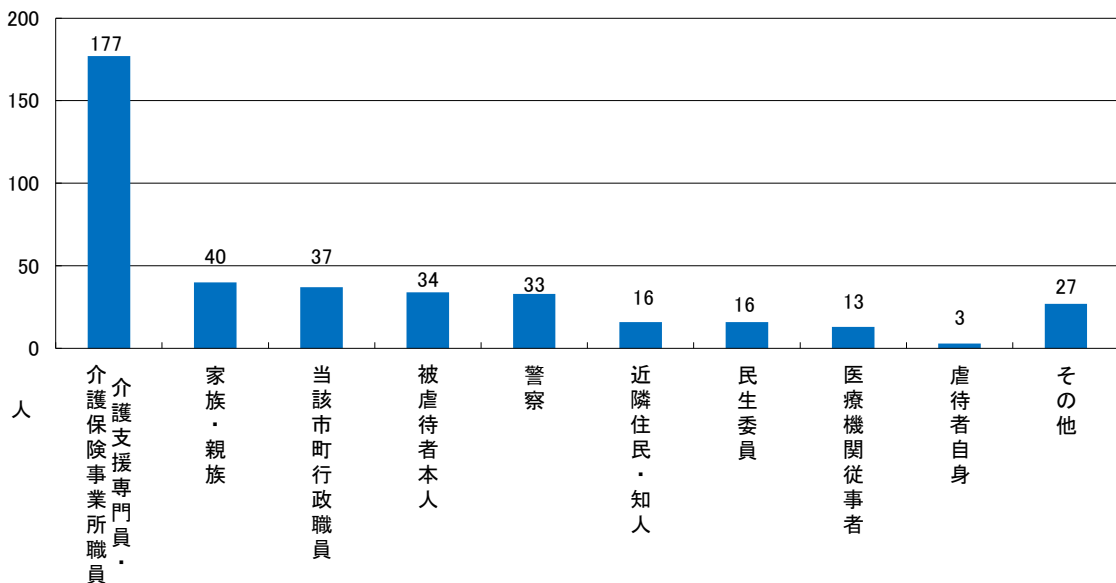


2 養護者による虐待について

(1) 相談・通報者

- ・ 養護者による虐待の相談・通報件数は、482件で、相談・通報者数は396人でした。相談・通報者396人を相談・通報者別に整理すると、うち、177人(44.7%)が介護支援専門員・介護保険事業所職員によるものです。

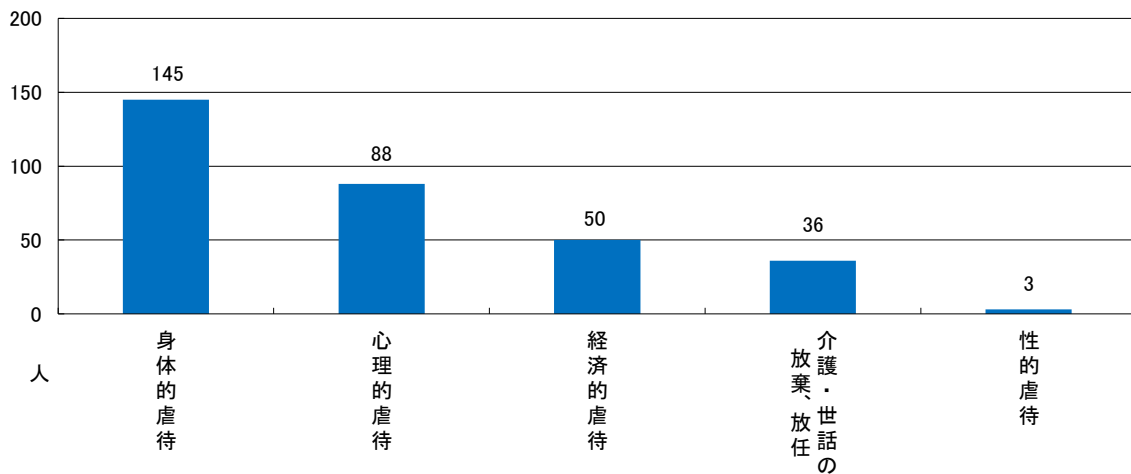
図2-1 養護者による虐待にかかる相談・通報の相談・通報者別内訳(複数回答)



(2) 虐待の種別

- ・ 「養護者による虐待を受けた又は受けたと思われる」と市町が判断した事例は214件で、被虐待者数は218人でした。被虐待者数218人のうち、もっとも多いのが身体的虐待で145人(66.5%)です。

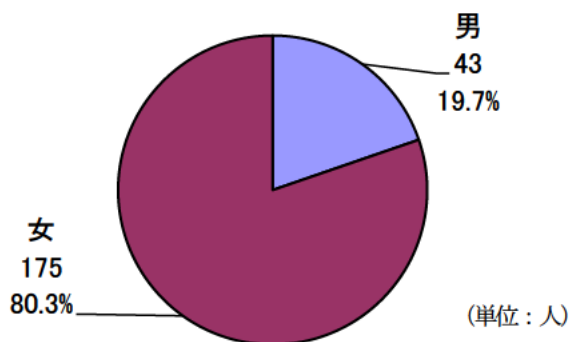
図2-2 虐待の種類(複数回答)



(3) 被虐待者の性別

- 被虐待者数218人のうち、女性が175人(80.3%)、男性が43人(19.7%)です。

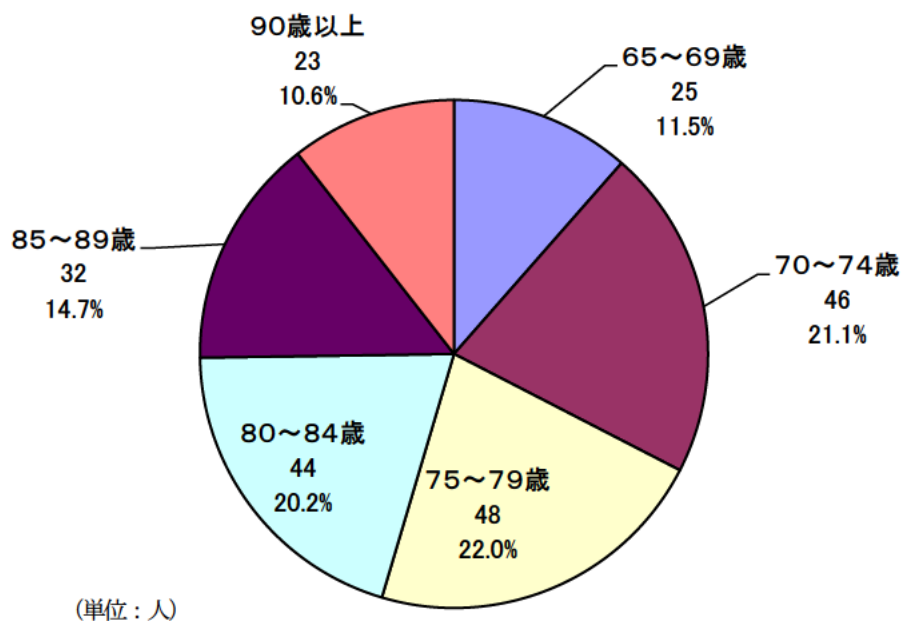
図2-3 被虐待者の性別



(4) 被虐待者の年齢

- 被虐待者数218人のうち、75～79歳が最も多く48人(22.0%)です。

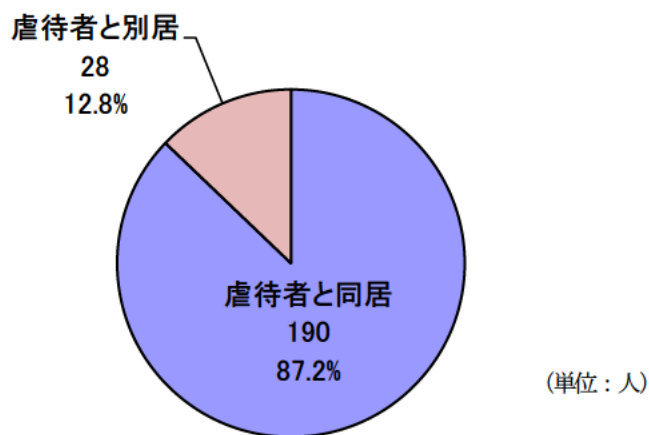
図2-4 被虐待者の年齢



(5) 虐待者との同居・別居

- ・ 被虐待者数218人のうち、虐待者と同居が190人（87.2%）という状況となっています。

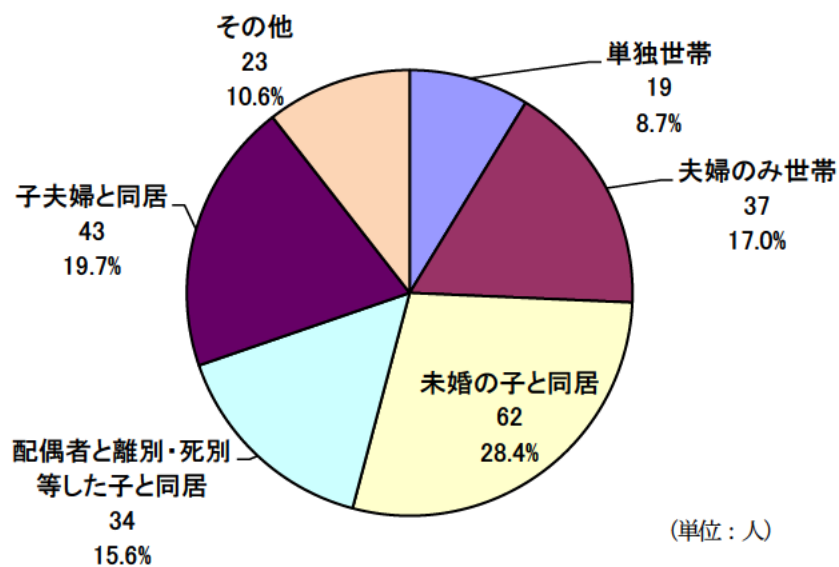
図2-5 虐待者との同居・別居の状況



(6) 世帯構成

- ・ 被虐待者数218人のうち、最も多い世帯構成は、未婚の子と同居の62人（28.4%）となっています。

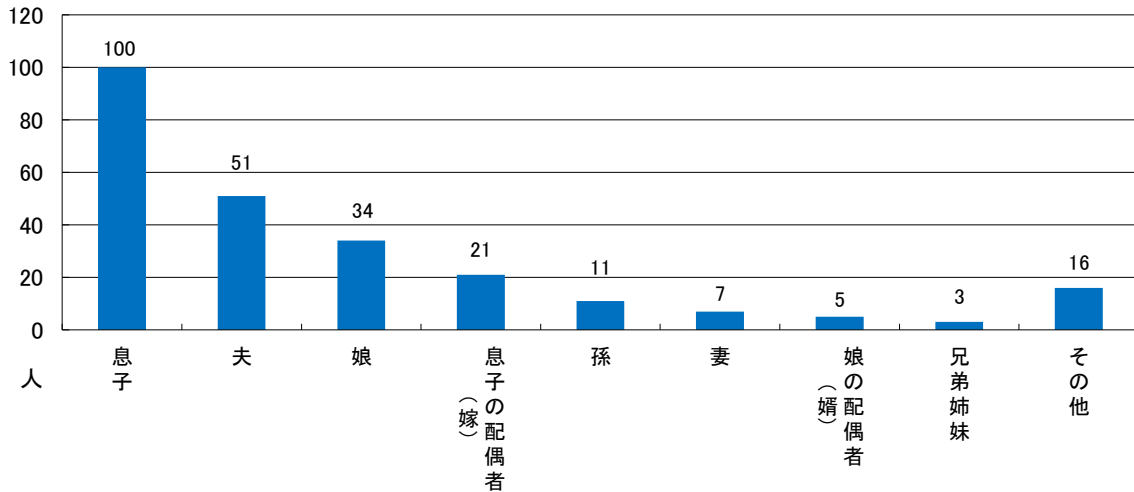
図2-6 世帯構成



(7) 被虐待者から見た虐待者の続柄

- 被虐待者数218人のうち、最も多い虐待者の続柄は息子で100人（40.3%）という状況です。

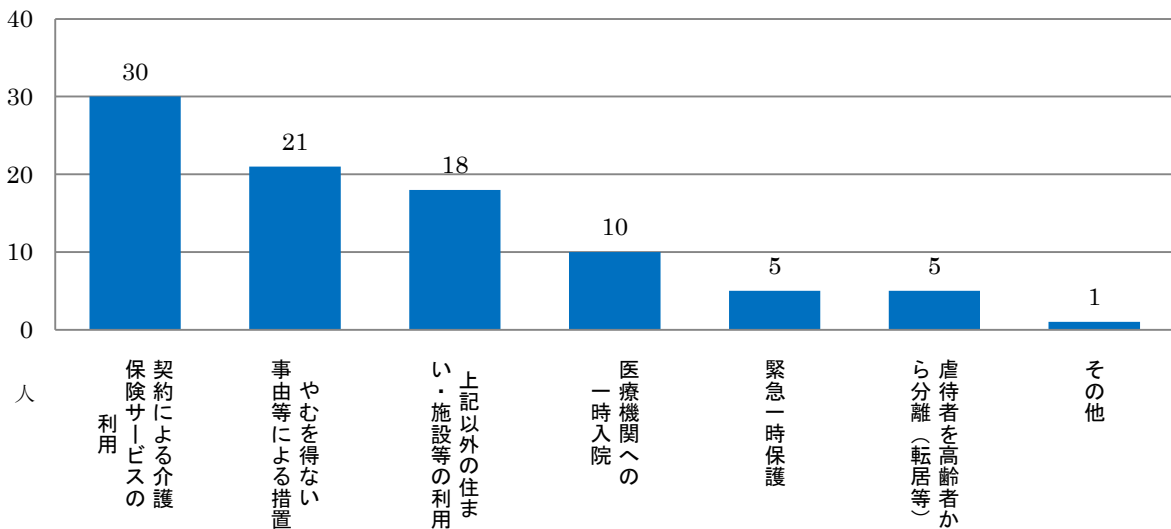
図2-7 虐待者の続柄（複数回答）



(8) 分離を行った事例の対応内訳

- 養護者による虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例で、平成26年度中に被虐待者の保護と虐待者からの分離を行った事例を行ったのは90人でした。（但し、この中には一部平成25年度に虐待と認定し対応が平成26年度となった事例も一部含まれます。）
- 分離を行った場合の対応内容（最初に行った対応）で最も多いのが「契約による介護保険サービスの利用」で30人（33.3%）です。

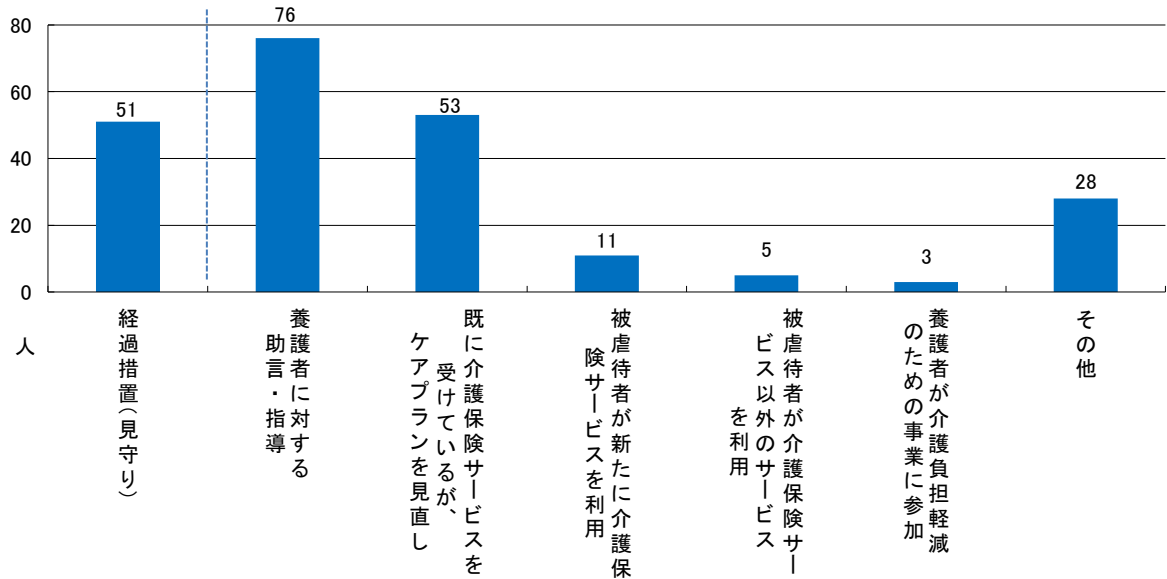
図2-8 分離を行った事例の対応内訳



(9) 分離していない事例の対応内訳

- ・ 養護者による虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例で、平成26年度中に被虐待者を虐待者から分離していない事例は累計で227件で被虐待者数167人でした。(但し、この件数の中には一部平成25年度に虐待と認定し対応が平成26年度となった事例も一部含まれています。)
- ・ 分離をしていない場合の対応内容では、経過観察(見守り)が51人(30.5%)であり、経過措置以外の対応のうち最も多いのは「養護者に対する助言・指導」で76人(45.5%)です。

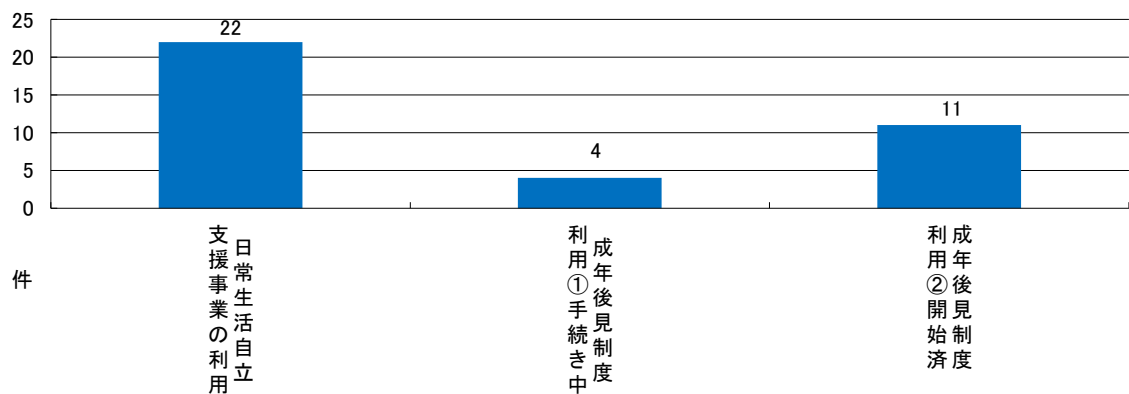
図2-9 分離していない事例の対応内訳



(10) 権利擁護に関する対応

- ・ 養護者による虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例で、平成26年度中に権利擁護に関する対応を行った事例が37件あり、その内訳は次のとおりです。
- ・ 成年後見制度を利用した対応15件のうち、市町長申立事例は8件ありました。

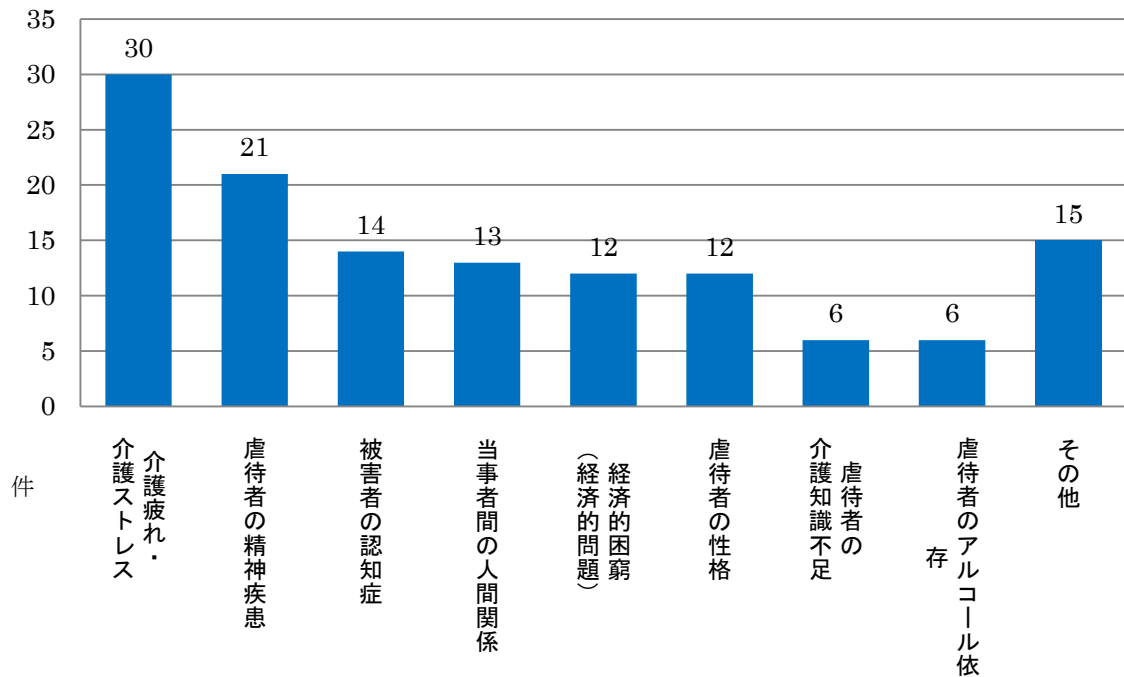
図2-10 権利擁護に関する対応内訳



(11) 虐待の発生要因

- ・ 養護者による虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例214件（被虐待者数218人）のうち、虐待の発生要因の回答があった83件について、主な要因別に整理すると、次のような結果になります。

図2-11 虐待の発生要因（複数回答）

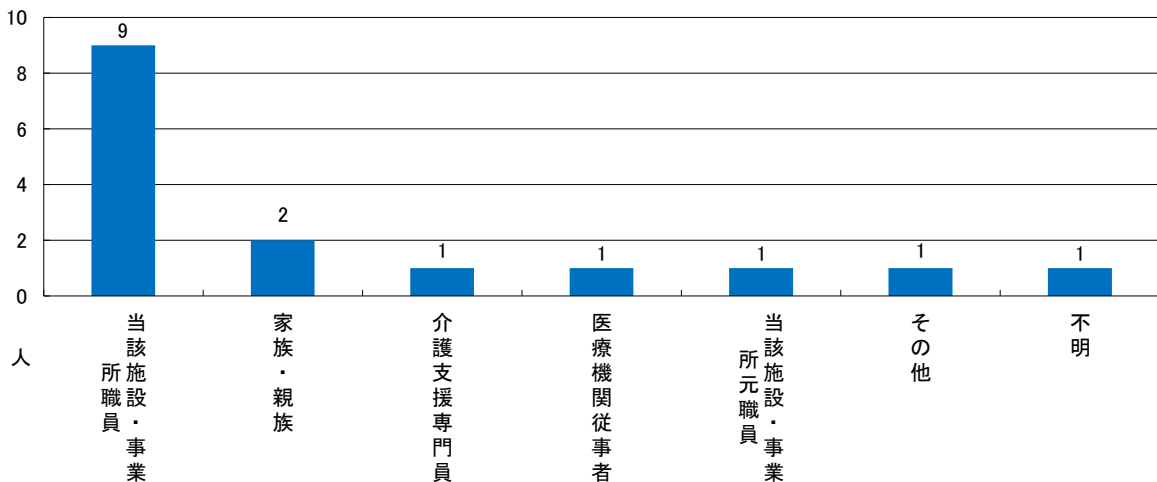


3 養介護施設従事者等による虐待について

(1) 相談・通報者

- ・ 養介護施設従事者等による虐待にかかる相談・通報があった13件（相談・通報者数16人）を相談・通報者別に整理すると、次のような結果となります。

図3-1 養介護施設従事者等による虐待にかかる相談・通報の相談・通報者別内訳（複数回答）



(2) 施設・事業所および虐待の種別

事実確認を行った事例12件のうち、虐待を受けた又は受けたと思われる事例は3件で、被虐待者数は4人です。虐待があった施設・事業所のサービス種別は「有料老人ホーム」が2件、「介護療養型医療施設」が1件で、虐待種別は「身体的虐待」が1人、「介護等放棄」が1人、「心理的虐待」が3人です（複数種別あり）。

(3) 虐待の発生要因

虐待を受けた又は受けたと思われる事例3件の発生要因としては、「教育・知識・介護技術等に関する問題」が2件、「職員のストレスや感情コントロールの問題」が1件でした。

（注1）「図1-1 平成26年度中の高齢者虐待にかかる相談・通報受理件数（市町別）」において、平成24年度以降の件数には「本調査年度内に、通報等を受理した事例」のほか、「対象年度以前に通報等を受理し、事実確認調査が対象年度となった事例」及び「対象年度以前に通報受理・事実確認した虐待事例で、対応が対象年度となった事例」も含まれます。

4 虐待を受けた又は受けたと判断した事例の概要について

●養護者による高齢者虐待

| | | | H26 | H25 | H24 | |
|------------------------|---------------------|---------------------------------|--------|-----|-----|-----|
| 養護者による高齢者虐待件数 (件) | | | 214 | 263 | 264 | |
| 相談・通報者 (人) ※主な相談者 | 介護支援専門員・介護保険事業所職員 | | 177 | 187 | 219 | |
| | 家族・親族 | | 40 | 47 | 56 | |
| | 民生委員 | | 16 | 38 | 39 | |
| | 被虐待者本人 | | 34 | 39 | 61 | |
| | 近隣住民・知人 | | 16 | 25 | 27 | |
| | 当該市町行政職員 | | 37 | 44 | 44 | |
| 高齢者虐待の状況 (人) | 性別 | 男性 | 43 | 59 | 65 | |
| | | 女性 | 175 | 211 | 209 | |
| | 被虐待者の状況 | 年齢階級 | 65~69歳 | 25 | 28 | 23 |
| | | | 70~74歳 | 46 | 40 | 42 |
| | | | 75~79歳 | 48 | 64 | 64 |
| | | | 80~84歳 | 44 | 71 | 66 |
| | | | 85~89歳 | 32 | 44 | 50 |
| | | | 90歳以上 | 23 | 20 | 29 |
| | 高齢者虐待の 類型 (重複あり) | 身体的虐待 | | 145 | 185 | 168 |
| | | 介護等放棄 | | 36 | 49 | 75 |
| | | 心理的虐待 | | 88 | 106 | 101 |
| | | 性的虐待 | | 3 | 0 | 0 |
| | | 経済的虐待 | | 50 | 61 | 66 |
| | 虐待者との同居 | | | 190 | 225 | 236 |
| | 世帯構成 | 子 (未婚の子、配偶者と離別・死別等した子、既婚の子) と同居 | | 139 | 163 | 166 |
| | 被虐待者から見た続柄 ※主な続柄 | 息子 | | 100 | 138 | 129 |
| | | 夫 | | 51 | 59 | 46 |
| | | 娘 | | 34 | 37 | 45 |
| | | 嫁 | | 21 | 20 | 19 |
| | | 妻 | | 7 | 11 | 16 |
| 孫 | | 11 | 18 | 18 | | |
| 兄弟姉妹 | | 3 | 5 | 7 | | |
| 高齢者虐待に対して 取った措置 (件) | 分離を行った事例 | 契約による介護保険サービスの利用 | 30 | 46 | 32 | |
| | 分離を行わなかった事例 | 養護者に対する助言・指導 | 76 | 80 | 87 | |

●養介護施設における従事者等による高齢者虐待

| | | | | H26 | H25 | H24 | |
|------------------------------|------------------------|------------|---------|-------------------|-----|-----|---|
| 養介護施設における従事者等による高齢者虐待件数 (件) | | | | 3 | 2 | 3 | |
| 高齢者虐待の状況 (人) | 被虐待者の 状況 | 性別 | 男性 | 3 | 0 | 1 | |
| | | | 女性 | 1 | 2 | 1 | |
| | | | 不明 | 0 | 0 | 1 | |
| | | 年齢階級 | 65~69 歳 | 1 | 0 | 0 | |
| | | | 70~74 歳 | 1 | 0 | 1 | |
| | | | 75~79 歳 | 2 | 0 | 0 | |
| | | | 80~84 歳 | 0 | 1 | 1 | |
| | | | 85~89 歳 | 0 | 1 | 0 | |
| | | | 不明 | 0 | 0 | 1 | |
| | | 状態像 | 要介護1 | 1 | 0 | 0 | |
| | | | 要介護2 | 0 | 0 | 1 | |
| | | | 要介護3 | 2 | 0 | 0 | |
| | | | 要介護4 | 0 | 1 | 0 | |
| | 要介護5 | | 1 | 1 | 1 | | |
| | 不明 | | 0 | 0 | 1 | | |
| | 高齢者虐待の 類型 (重複あり) | 身体的虐待 | | | 1 | 2 | 2 |
| | | 介護等放棄 | | | 1 | 0 | 0 |
| | | 心理的虐待 | | | 3 | 0 | 0 |
| | | 性的虐待 | | | 0 | 0 | 0 |
| 経済的虐待 | | | 0 | 0 | 0 | | |
| 高齢者虐待に対して取った措置 (重複あり) (件) | | | | 施設等からの改善計画の提出依頼 | 2 | 1 | 3 |
| | | | | 介護保険法に基づく勧告・命令・処分 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | その他 | 0 | 1 | 0 |
| その他の事項 | 虐待があった施設等の種別 (件) | 特別養護老人ホーム | | | 0 | 2 | 1 |
| | | 老人保健施設 | | | 0 | 0 | 0 |
| | | 認知症グループホーム | | | 0 | 0 | 1 |
| | | 短期入所施設 | | | 0 | 0 | 0 |
| | 虐待を行った要介護施設従事者等の職種 (人) | 介護職 | | | 2 | 2 | 1 |
| | | 看護職 | | | 0 | 0 | 0 |
| | | 管理職 | | | 0 | 0 | 0 |
| | | その他 | | | 1 | 0 | 0 |